

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 堀田 哲平
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務部長 CFO (氏名) 山本 泰弘 (TEL) 072-861-5322
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,076	24.2	232	41.0	233	42.2	178	—
2025年9月期第3四半期	866	27.9	164	—	164	—	△0	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 178百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 △0百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	197.31	—
2025年9月期第3四半期	△0.59	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,500	1,307	87.2
2025年9月期	1,855	1,647	88.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 1,307百万円 2025年9月期 1,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2026年9月期	—	23.00	—		
2026年9月期(予想)				33.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2026年8月10日)公表の「2026年9月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,340	13.7	160	15.0	160	15.4	115	—	129.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2025年12月19日開催の取締役会決議に基づき、2026年1月30日付で226,800株の自己株式の消却を行っており、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該消却の影響を踏まえております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	846,700株	2025年9月期	1,073,500株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	63株	2025年9月期	29,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	905,809株	2025年9月期3Q	1,043,779株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年10月1日～2026年6月30日）における我が国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら、原材料・エネルギーコストの高止まりによる物価高や地政学リスクの拡大等により、先行きに対する不透明感が増しております。

なお、当社グループを取り巻く事業環境においては、化学業界全体として設備集約や不採算事業からの撤退等の事業構造改革が進んでいるほか、イラン情勢の緊迫化に伴う原材料の調達リスクやコスト高の影響により、石油化学製品に減産の動きが見られ、各企業を取り巻く不確実性が高まっております。

当社グループにおきましては、受託蒸留事業では、イラン情勢の影響により顧客の生産計画に変更が生じているほか、半導体・電子材料向けの需要が一時的な踊り場を迎えております。また、プラント事業では、展示会への出展をはじめ積極的な広報活動等を通じて、自社オリジナル装置（蒸留装置・排水処理装置等）の販路拡大に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、1,076,534千円（前年同期比24.2%増）となりました。利益面におきましては、プラント事業の大幅な増収に伴い、営業利益は232,373千円（前年同期比41.0%増）、経常利益は233,430千円（前年同期比42.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は178,726千円（前第3四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失620千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

（受託蒸留事業）

受託蒸留事業におきましては、引き続き資源・エネルギー関連の引き合いが好調だったものの、半導体・電子材料向けの需要が前年同期比では低調に推移しております。また、イラン情勢による顧客の生産前倒しが発生した影響もあり、受託蒸留事業の売上高は825,683千円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は387,007千円（前年同期比0.8%減）となりました。

（プラント事業）

プラント事業におきましては、メンテナンス・消耗品販売に加え、当第3四半期連結累計期間において蒸留装置1基及び排水処理装置7基の納入が完了したことで、プラント事業の売上高は250,851千円（前年同期比520.4%増）、セグメント利益は57,338千円（前第3四半期連結累計期間はセグメント損失35,310千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ355,530千円減少し、1,500,391千円となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ321,237千円減少し、782,697千円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が13,313千円増加した一方、現金及び預金が301,811千円、電子記録債権が22,597千円、受取手形、売掛金及び契約資産が14,164千円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ34,293千円減少し、717,693千円となりました。主な要因は、建設仮勘定が9,573千円増加した一方、機械装置及び運搬具（純額）が32,097千円、建物及び構築物（純額）が8,619千円減少したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ16,036千円減少し、192,619千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ16,050千円減少し、185,493千円となりました。主な要因は、未払法人税等が24,802千円増加した一方、賞与引当金が17,398千円、未払金が15,329千円、前受金が5,250千円、未払費用が3,381千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ13千円増加し、7,125千円となりました。主な要因は、資産除去債務が13千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ339,493千円減少し、1,307,772千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方、自己株式の取得及び消却並びに剰余金の配当等により、利益剰余金が382,684千円、自己株式が43,599千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2025年11月14日付「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました予想数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(2026年8月10日)公表の「2026年9月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,761	570,950
受取手形、売掛金及び契約資産	97,074	82,909
電子記録債権	23,026	429
商品及び製品	30,038	27,755
仕掛品	26,637	33,220
原材料及び貯蔵品	34,441	47,755
前払費用	12,325	14,700
その他	7,629	4,975
流動資産合計	1,103,935	782,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	376,560	367,941
機械装置及び運搬具（純額）	171,328	139,231
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	1,577	11,150
その他（純額）	22,174	25,455
有形固定資産合計	728,713	700,850
無形固定資産		
ソフトウェア	1,011	536
その他	138	138
無形固定資産合計	1,149	674
投資その他の資産		
長期前払費用	2,416	2,384
繰延税金資産	9,065	3,879
その他	10,642	9,904
投資その他の資産合計	22,124	16,168
固定資産合計	751,986	717,693
資産合計	1,855,922	1,500,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,922	688
未払費用	38,516	35,135
未払金	66,093	50,764
未払法人税等	16,170	40,973
未払消費税等	27,894	30,205
前受金	5,250	—
賞与引当金	23,108	5,710
預り金	20,294	21,272
その他	293	744
流動負債合計	201,543	185,493
固定負債		
資産除去債務	7,112	7,125
固定負債合計	7,112	7,125
負債合計	208,656	192,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,447	313,039
利益剰余金	1,031,060	648,375
自己株式	△43,739	△140
株主資本合計	1,647,266	1,307,772
純資産合計	1,647,266	1,307,772
負債純資産合計	1,855,922	1,500,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	866,782	1,076,534
売上原価	407,154	533,798
売上総利益	459,628	542,735
販売費及び一般管理費	294,795	310,362
営業利益	164,833	232,373
営業外収益		
受取利息	4	—
受取手数料	6	—
確定拠出年金返還金	424	131
スクラップ売却収入	1,741	981
その他	168	582
営業外収益合計	2,345	1,695
営業外費用		
支払手数料	—	637
固定資産除却損	3,071	0
その他	—	1
営業外費用合計	3,071	638
経常利益	164,107	233,430
特別損失		
減損損失	8,631	—
公開買付関連費用	114,113	—
特別損失合計	122,745	—
税金等調整前四半期純利益	41,362	233,430
法人税、住民税及び事業税	16,503	49,516
法人税等調整額	25,479	5,186
法人税等合計	41,982	54,703
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△620	178,726
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△620	178,726

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△620	178,726
四半期包括利益	△620	178,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△620	178,726
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	561,523	—	561,523	—	561,523
研究開発支援	264,827	—	264,827	—	264,827
プラントサービス	—	40,432	40,432	—	40,432
顧客との契約から生じる収益	826,350	40,432	866,782	—	866,782
外部顧客への売上高	826,350	40,432	866,782	—	866,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	66,222	66,222	△66,222	—
計	826,350	106,654	933,005	△66,222	866,782
セグメント利益又は損失 (△)	390,155	△35,310	354,844	△190,011	164,833

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額の△190,011千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,583千円、セグメント間取引消去5,571千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	484,062	—	484,062	—	484,062
研究開発支援	341,620	—	341,620	—	341,620
プラントサービス	—	250,851	250,851	—	250,851
顧客との契約から生じる収益	825,683	250,851	1,076,534	—	1,076,534
外部顧客への売上高	825,683	250,851	1,076,534	—	1,076,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	56,843	56,843	△56,843	—
計	825,683	307,695	1,133,378	△56,843	1,076,534
セグメント利益	387,007	57,338	444,345	△211,972	232,373

(注) 1. セグメント利益の調整額の△211,972千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△215,805千円、セグメント間取引消去3,833千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2025年12月19日開催の取締役会決議に基づき、2025年12月22日付で自己株式197,000株を461,177千円で取得いたしました。同じく、2025年12月19日開催の取締役会決議に基づき、2026年1月30日付で自己株式226,800株の消却を実施しております。この結果、利益剰余金が505,272千円、自己株式が505,471千円それぞれ減少しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社である株式会社カイコーは、連結子会社であるユカエンジニアリング株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	62,668千円	64,011千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。